

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成30年1月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質(一般項目)】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター



# 目 次

## I 事後調査の概要

1. 調査概要	.....	I - 1
2. 工事の実施状況	.....	I - 3
3. 調査結果の概要	.....	I - 4

## II 事後調査結果

1. 大気質	.....	II - 1
2. 水質	.....	II - 9



## I 事後調査の概要



## 1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 30 年 1 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO <sub>2</sub> ) 窒素酸化物(NO <sub>2</sub> 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	1月1日～31日	通年連続

表－1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	1月15日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

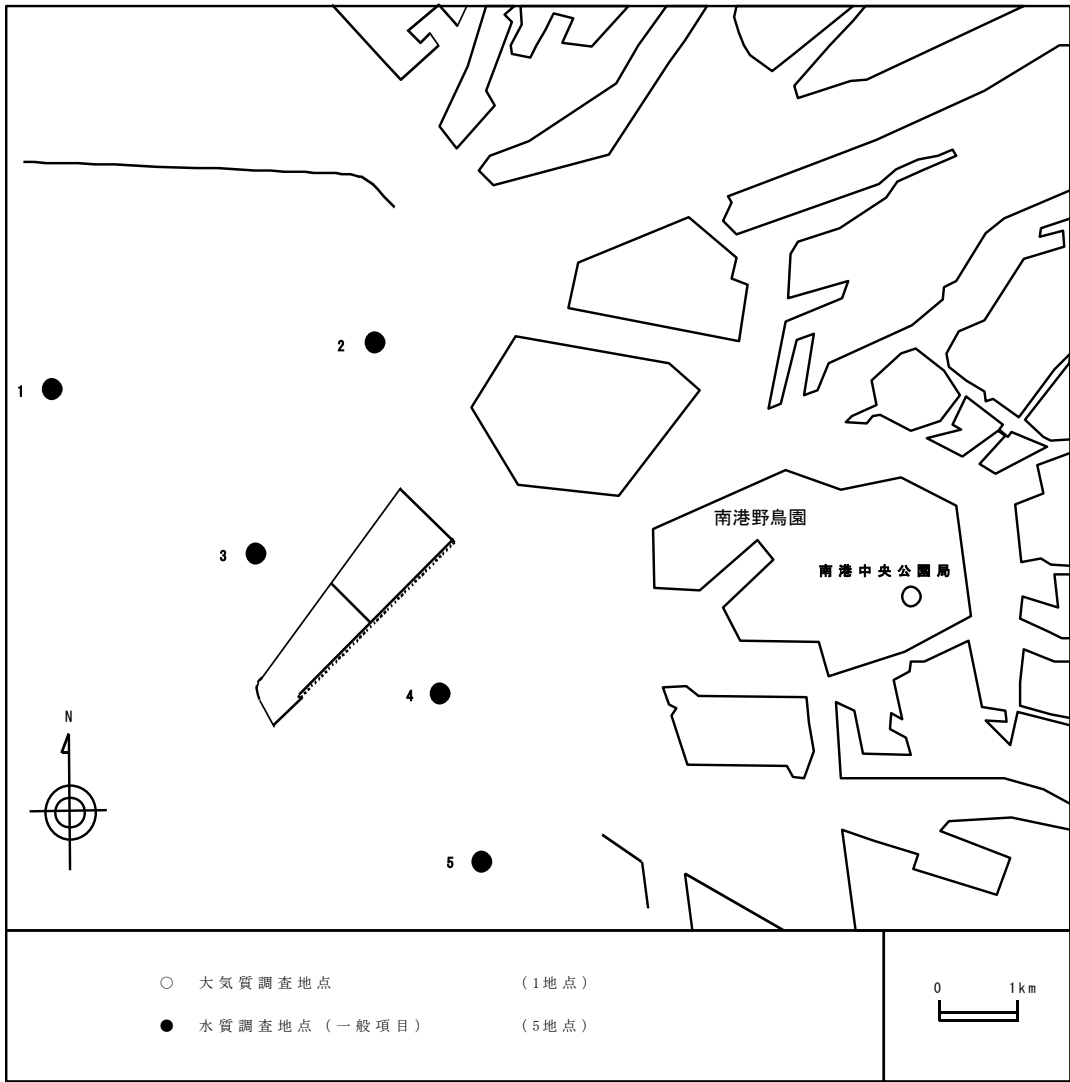
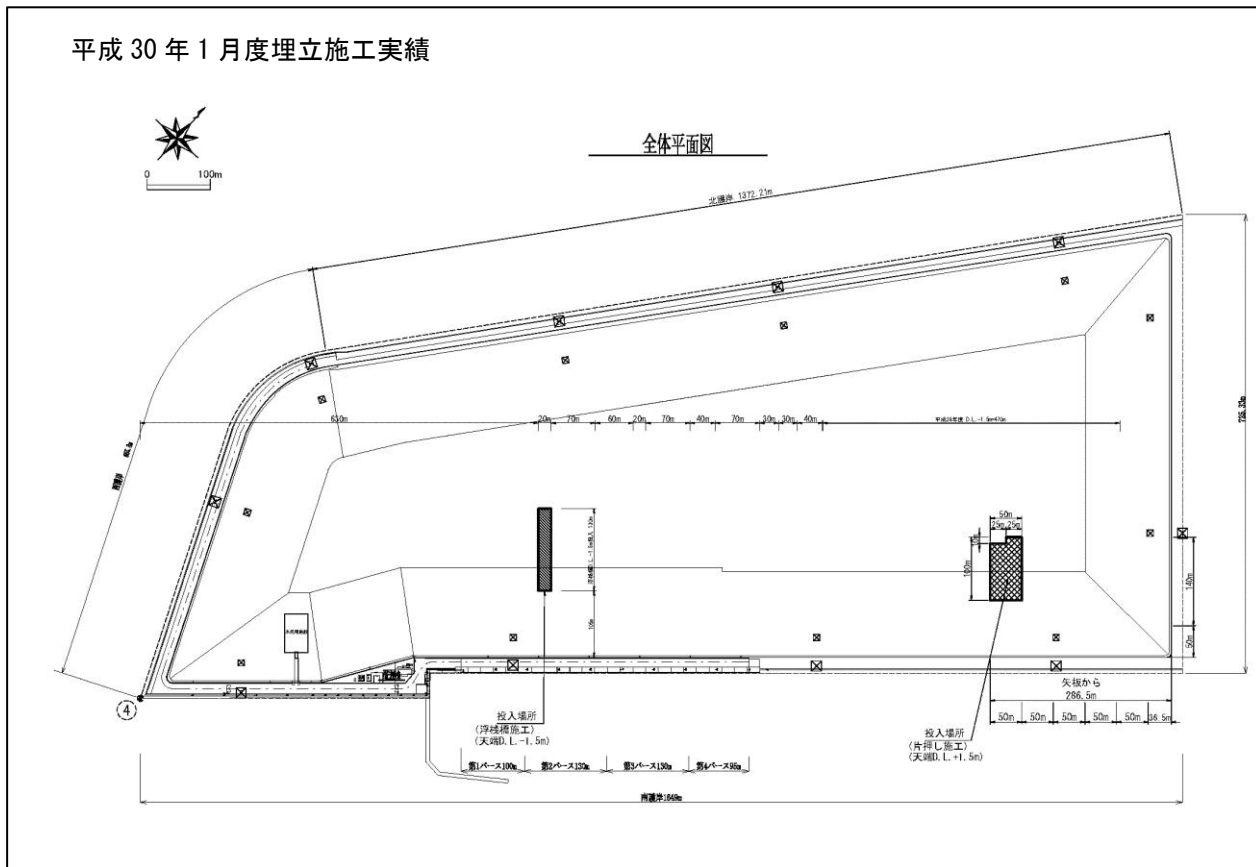


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点



## 2. 工事の実施状況

平成 30 年 1 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量 (m <sup>3</sup> )	進捗率 (%)
4,418,298	31.6

埋立容量 (計画量) : 13,975,000 m<sup>3</sup>

図-2 工事の実施状況

### 3. 調査結果の概要

#### 埋立地周辺における調査

##### (1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm 以下、1時間値：0.1ppm 以下】  
二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.003ppm であった。また、日平均値の最高値は0.009ppm、1時間値の最高値は0.022ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】  
二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の月平均値は、0.022ppm であった。また、日平均値の最高値は0.052ppm であり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m<sup>3</sup>以下、1時間値：0.20 mg/m<sup>3</sup>以下】  
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.015mg/m<sup>3</sup> であった。また、日平均値の最高値は0.036mg/m<sup>3</sup>、1時間値の最高値は0.055mg/m<sup>3</sup> であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

##### (2) 水質

###### ①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層及び下層で 8.1～8.2 の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内にあった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg /L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 2.7～2.9mg /L、下層で 2.1～2.8mg /L であり、上層及び下層で全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg /L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 10～11mg /L、下層で 8.7～9.5mg/L の範囲にあり、上層及び下層で全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値：0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.62～1.0mg/L、下層で 0.32～0.41mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (1.0mg/L)、調査地点 2 (0.77mg/L)、調査地点 3 (0.64mg/L)、調査地点 4 (0.92mg/L)、調査地点 5 (0.62mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 0.46～2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.057~0.075mg/L、下層で 0.029~0.036mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.075mg/L)、調査地点 2 (0.060mg/L)、調査地点 3 (0.057mg/L)、調査地点 4 (0.073mg/L)、調査地点 5 (0.058mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1~2 度(カリン)、下層で 1~3 度(カリン)であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層及び下層で報告下限値未満 (<1 mg/L) ~2mg/L の範囲であった。

8) クロフィル a

クロフィル a は上層で 3.6~11  $\mu$ g/L、下層で 3.1~6.8  $\mu$ g/L の範囲であった。

## 《 参 考 》

### ■環境基準等（本報告関係分）

#### 1. 環境基準

##### (1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。

##### (2)水質

###### ①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。

なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

(3) 騒音（道路に面する地域以外の地域）

地域の 類型	基準値	
	昼間	夜間
C	60 デジベル以下	50 デジベル以下

注) 1. 時間の区分は以下のとおりである。

昼間：午前6時～午後10時 夜間：午後10時～午前6時

2. 騒音の評価手法は、等価騒音レベルによるものとし、時間の区分ごとの全時間を通じた等価騒音レベルによって評価することを原則とする。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ~ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ~ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ~ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ~ 4.9 (34/60)	3.2 ~ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ~ 3.6 (4/60)	2.0 ~ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ~ 14 (0/60)	8.6 ~ 9.8
	下層	0.6 ~ 11 (14/60)	6.2 ~ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ~ 2.1	0.91 ~ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ~ 0.82	0.44 ~ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ~ 0.15	0.061 ~ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ~ 0.25	0.038 ~ 0.063 (1/5)

注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。

2. m：環境基準を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。

3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。



## II 事後調查結果





大気質測定結果総括表 [平成30年1月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	737
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	2
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	742
	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成30年1月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (月)	0.002	0.006
	2 (火)	0.003	0.006
	3 (水)	0.003	0.007
	4 (木)	0.002	0.007
	5 (金)	0.002	0.006
別	6 (土)	0.002	0.005
	7 (日)	0.002	0.004
	8 (月)	0.002	0.003
	9 (火)	0.002	0.005
	10 (水)	0.003	0.008
	11 (木)	0.002	0.003
	12 (金)	0.002	0.005
	13 (土)	0.003	0.007
	14 (日)	0.002	0.004
	15 (月)	0.006	0.022
値	16 (火)	0.009	0.020
	17 (水)	0.004	0.009
	18 (木)	0.005	0.018
	19 (金)	0.002	0.005
	20 (土)	0.003	0.013
	21 (日)	0.004	0.020
	22 (月)	0.002	0.007
	23 (火)	0.003	0.007
	24 (水)	0.003	0.007
	25 (木)	0.002	0.004
	26 (金)	0.003	0.007
	27 (土)	0.001	0.004
	28 (日)	0.003	0.009
	29 (月)	0.003	0.008
	30 (火)	0.003	0.007
	31 (水)	0.004	0.009
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		737	
月平均値 (ppm)		0.003	
日平均値の最高値 (ppm)		0.009	
1時間値の最高値 (ppm)		0.022	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成30年1月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (月)	0.001	0.003
	2 (火)	0.001	0.007
	3 (水)	0.001	0.003
	4 (木)	0.002	0.013
	5 (金)	0.014	0.052
	6 (土)	0.017	0.097
	7 (日)	0.002	0.010
	8 (月)	0.005	0.013
	9 (火)	0.003	0.011
	10 (水)	0.004	0.015
別	11 (木)	0.004	0.008
	12 (金)	0.004	0.009
	13 (土)	0.004	0.011
	14 (日)	0.004	0.030
	15 (月)	0.044	0.126
	16 (火)	0.112	0.178
	17 (水)	0.071	0.175
	18 (木)	0.018	0.081
	19 (金)	0.008	0.039
	20 (土)	0.026	0.128
値	21 (日)	0.008	0.050
	22 (月)	0.015	0.037
	23 (火)	0.002	0.007
	24 (水)	0.003	0.010
	25 (木)	0.005	0.012
	26 (金)	0.005	0.013
	27 (土)	0.006	0.053
	28 (日)	0.012	0.037
	29 (月)	0.008	0.044
	30 (火)	0.004	0.014
	31 (水)	0.022	0.127
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.014	
日平均値の最高値 (ppm)		0.112	
1時間値の最高値 (ppm)		0.178	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成30年1月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
別 日 別 値	1 (月)	0.006	0.013
	2 (火)	0.008	0.023
	3 (水)	0.006	0.016
	4 (木)	0.015	0.032
	5 (金)	0.031	0.040
	6 (土)	0.020	0.035
	7 (日)	0.012	0.036
	8 (月)	0.026	0.032
	9 (火)	0.017	0.029
	10 (水)	0.018	0.034
	11 (木)	0.012	0.023
	12 (金)	0.014	0.022
	13 (土)	0.015	0.031
	14 (日)	0.019	0.041
	15 (月)	0.041	0.048
	16 (火)	0.052	0.060
	17 (水)	0.039	0.052
	18 (木)	0.029	0.052
	19 (金)	0.033	0.050
	20 (土)	0.031	0.048
	21 (日)	0.023	0.039
	22 (月)	0.034	0.046
	23 (火)	0.016	0.024
	24 (水)	0.013	0.026
	25 (木)	0.018	0.033
	26 (金)	0.016	0.032
	27 (土)	0.015	0.047
	28 (日)	0.034	0.046
	29 (月)	0.021	0.045
	30 (火)	0.017	0.032
	31 (水)	0.035	0.056
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.022	
日平均値の最高値 (ppm)		0.052	
1時間値の最高値 (ppm)		0.060	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		2	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第5号（埋立地関連）

窒素酸化物（NO+NO<sub>2</sub>）測定結果 [平成30年1月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均值		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)	
日 別 値	1 (月)	0.007	84.8	0.016
	2 (火)	0.010	85.2	0.030
	3 (水)	0.007	83.2	0.018
	4 (木)	0.018	86.0	0.037
	5 (金)	0.044	68.9	0.090
	6 (土)	0.037	54.4	0.132
	7 (日)	0.014	88.1	0.045
	8 (月)	0.031	83.0	0.042
	9 (火)	0.020	83.1	0.039
	10 (水)	0.023	80.7	0.049
	11 (木)	0.016	75.3	0.031
	12 (金)	0.018	77.4	0.030
	13 (土)	0.019	80.0	0.042
	14 (日)	0.023	81.3	0.071
	15 (月)	0.085	48.6	0.171
	16 (火)	0.163	31.6	0.233
	17 (水)	0.110	35.5	0.227
	18 (木)	0.046	62.3	0.121
	19 (金)	0.041	80.1	0.089
	20 (土)	0.057	54.0	0.175
	21 (日)	0.031	74.6	0.087
22 (月)	0.049	69.5	0.082	
23 (火)	0.018	87.6	0.031	
24 (水)	0.016	79.9	0.036	
25 (木)	0.023	77.6	0.044	
26 (金)	0.021	78.1	0.043	
27 (土)	0.021	72.1	0.100	
28 (日)	0.046	73.7	0.076	
29 (月)	0.028	73.4	0.089	
30 (火)	0.020	82.0	0.046	
31 (水)	0.057	62.0	0.183	
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		740		
月平均値 (ppm)		0.036		
日平均値の最高値 (ppm)		0.163		
1時間値の最高値 (ppm)		0.233		
月平均値 NO <sub>2</sub> / (NO+NO <sub>2</sub> ) (%)		61.2		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば( )書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO<sub>2</sub>/ (NO+NO<sub>2</sub>)の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO<sub>2</sub>/ (NO+NO<sub>2</sub>) =

(NO及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO<sub>2</sub>が同時測定されている時間のNO+NO<sub>2</sub>濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成30年1月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m <sup>3</sup> )	1時間値の最高値(mg/m <sup>3</sup> )
日	1 (月)	0.013	0.020
	2 (火)	0.012	0.032
	3 (水)	0.016	0.046
	4 (木)	0.006	0.011
	5 (金)	0.010	0.017
別	6 (土)	0.013	0.029
	7 (日)	0.010	0.016
	8 (月)	0.011	0.014
	9 (火)	0.017	0.026
	10 (水)	0.013	0.023
	11 (木)	0.008	0.010
	12 (金)	0.008	0.011
	13 (土)	0.011	0.014
	14 (日)	0.010	0.017
	15 (月)	0.017	0.027
値	16 (火)	0.036	0.054
	17 (水)	0.028	0.054
	18 (木)	0.016	0.049
	19 (金)	0.032	0.055
	20 (土)	0.026	0.045
	21 (日)	0.023	0.036
	22 (月)	0.013	0.018
	23 (火)	0.016	0.033
	24 (水)	0.007	0.013
	25 (木)	0.006	0.010
	26 (金)	0.007	0.015
	27 (土)	0.009	0.019
	28 (日)	0.019	0.027
	29 (月)	0.020	0.038
	30 (火)	0.012	0.018
	31 (水)	0.016	0.029
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		742	
月平均値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.015	
日平均値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.036	
1時間値の最高値 (mg/m <sup>3</sup> )		0.055	
1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成30年1月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向  16方位
		平均 風速  (m/s)	最大風速		
			風速  (m/s)	風向  16方位	
日	1 (月)	2.3	3.4	WNW	WNW
	2 (火)	2.3	4.0	WNW	WNW
	3 (水)	1.7	3.3	WNW	NW
	4 (木)	0.7	1.8	WSW	WSW, CALM
	5 (金)	0.5	1.0	SE	CALM
	6 (土)	0.9	2.4	WNW	WNW
	7 (日)	0.7	1.3	NE	E, CALM
	8 (月)	1.1	2.4	NE	NE
	9 (火)	2.5	4.7	WNW	WNW
	10 (水)	1.9	3.3	WSW, WNW	WNW
別	11 (木)	2.5	3.4	WNW, WNW	WNW
	12 (金)	2.4	3.9	WNW	WNW
	13 (土)	2.0	4.0	WNW	WNW
	14 (日)	0.7	1.7	E	SE
	15 (月)	0.7	1.9	WNW	NNE, CALM
	16 (火)	0.5	1.3	NW	CALM
	17 (水)	1.0	2.2	WSW	N
	18 (木)	1.0	2.0	WSW	NNW
	19 (金)	0.9	2.4	NNE	NNE, NE
	20 (土)	0.7	1.9	WSW	CALM
値	21 (日)	1.0	2.3	WSW	NNW
	22 (月)	0.9	1.9	E	ENE
	23 (火)	2.4	4.6	WSW	WNW
	24 (水)	3.5	5.4	WNW	WNW
	25 (木)	2.0	3.5	WNW	WNW
	26 (金)	2.4	4.2	WNW	WNW
	27 (土)	1.5	3.3	NW	NW
	28 (日)	0.6	1.8	NW	CALM
	29 (月)	2.2	4.2	WSW, WNW	WNW
	30 (火)	2.5	3.8	WSW	WNW
	31 (水)	1.0	3.0	WSW	W
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		1.5			
月最大風速 (m/s)		5.4			
月最多風向 (16方位)		WNW			

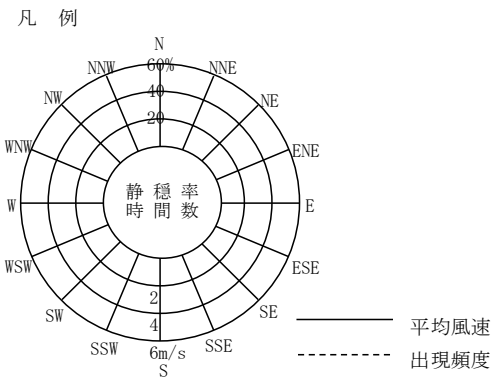
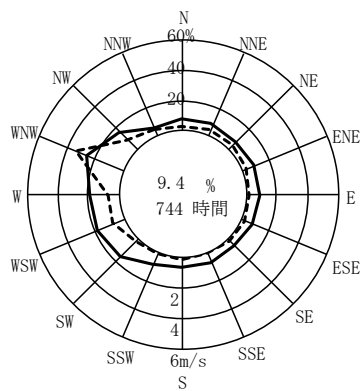
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。  
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成30年1月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	38	35	32	18	21	15	4	9	6	15	53	52	242	72	40	22	70	744
頻度 (%)	5.1	4.7	4.3	2.4	2.8	2.0	0.5	1.2	0.8	2.0	7.1	7.0	32.5	9.7	5.4	3.0	9.4	-
平均風速 (m/s)	0.9	0.8	0.9	1.0	0.8	0.6	0.7	0.6	0.8	1.5	1.8	1.8	2.5	1.6	0.6	0.8	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成30年1月分]



水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成30年1月分]

調査日：平成30年1月15日

調査点 項目		1	2	3	4	5	最小値 ~ 最大値		平均値
時刻		10:40	10:25	10:56	11:25	11:10	-		-
透明度 [m]		4.9	4.8	4.1	4.1	4.1	4.1	~ 4.9	4.4
水温 [°C]		8.4	9.7	9.3	8.7	8.9	8.4	~ 9.7	9.0
		10.6	10.0	10.7	10.4	10.1	10.0	~ 10.7	10.4
塩分 [-]		31.5	31.2	31.6	31.6	31.5	31.2	~ 31.6	31.5
		31.5	31.3	31.6	31.7	31.6	31.3	~ 31.7	31.5
濁度 [度(カリン)]		2	2	2	1	2	1	~ 2	2
		2	1	2	3	3	1	~ 3	2
浮遊物質 (SS) [mg/L]		2	2	1	2	<1	<1	~ 2	2
		1	1	2	1	<1	<1	~ 2	1
水素イオン濃度 (pH) [-]		8.1	8.1	8.2	8.1	8.2	8.1	~ 8.2	-
		8.1	8.1	8.1	8.1	8.2	8.1	~ 8.2	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]		2.8	2.8	2.7	2.9	2.8	2.7	~ 2.9	2.8
		2.1	2.8	2.1	2.4	2.7	2.1	~ 2.8	2.4
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	10	11	11	10	10	10	~ 11	10
	飽和度 [%]	8.7	9.4	8.8	9.3	9.5	8.7	~ 9.5	9.1
全窒素 (T-N) [mg/L]		105	118	117	105	106	105	~ 118	110
		96	102	97	102	103	96	~ 103	100
全窒素 (T-N) [mg/L]		1.0	0.77	0.64	0.92	0.62	0.62	~ 1.0	0.79
		0.35	0.33	0.32	0.41	0.32	0.32	~ 0.41	0.35
全燐 (T-P) [mg/L]		0.075	0.060	0.057	0.073	0.058	0.057	~ 0.075	0.065
		0.036	0.030	0.033	0.029	0.032	0.029	~ 0.036	0.032
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]		3.6	5.4	11	3.9	5.5	3.6	~ 11	5.9
		4.7	5.9	3.1	4.7	6.8	3.1	~ 6.8	5.0

注) 上段：上層（海面下1m）  
下段：下層（海底面上2m）

特記事項